

# 祖師の教えは 仏説ではない

布教部長 村松潮隆

絵 藤田由也

問ふて云く、華嚴宗には五教を立て、余の一切の経は劣れり、華嚴経は勝ると云ひ、真言宗には十住心を立てて、余の一切経は顕教なれば劣り、真言宗は密教なれば勝れたりと云ふ。禪宗には余の一切経をば教内と簡ひて、教外別伝不立文字と立てて、壁に向ひ悟れば禪宗独り勝れたりと云ふ。浄土宗には正雑二行を立てて法華経等の一切経をば捨閉閣抛し雑行と簡ひ、浄土の三部経のみを機に叶ひめでたき正行なりと云ふ。各各我慢を立て互に偏執をなす。何れか釈迦仏の御本意なるや。

答へて云く、宗宗各別に我が経こそすぐれたれ、余経は劣れりと云ひて、我宗をよしと云ふ事は、唯是れ人師の言にて仏説にあらず。

【語句の意味】

問ふて云くいわ質問します。

華嚴宗けげんしゅう 中国唐時代の初期、杜順とじゆん大師（五五七〜

六四〇）によつて開かれた華嚴経を抛り所

とする宗派。日本では奈良東大寺が総本山。

・には・・・では。

五教ごきょう 華嚴宗で①小乗の教え↓②大乘の始めの

教え↓③大乘の終りの教え↓④頓教とんきょう（段階

を踏まず、いきなり高次元の法を説く教え）

↓⑤円教えんきょう（完全無欠な教え）と一切経の内

容を浅深五段階に分類・判別したこと。

立てたて現わして。・・・を新たに設けて。

華嚴経けげんきょうは勝るまさ華嚴宗では、法華経と華嚴経を完

全無欠な教えの円教としたが、法華経は声

聞乗・縁覚乗・菩薩乗をまとめて一仏乗と

するのに対し、菩薩乗のみを説いて声聞乗・

縁覚乗を交えない華嚴経の方が勝る、とし

たこと。

真言宗しんごん 弘法大師空海（七七四〜八三五）が、高

野山 金剛峯寺・京都 東寺を開いて広めた

大日如来を本仏とする宗派。

十住心じゅうじゅうしん 人間の心を十段階に分け、仏教思想な

どを当てはめて体系を作り、真言密教こそ

が十段階最高の境地であるとした弘法大師

空海の著『秘密曼荼羅十住心論』のこと。

顕教けんきょう 文字で説き現わされたお釈迦様の教え。

密教みつぎょう 真言秘密教といわれる大日如来の教え。

禪宗ぜんしゅう 六世紀前半 達磨だるま大師がインドより中国に

伝えた宗派。日本では臨済宗・曹洞宗。

余の一切経いっせいきょう 其他の総てのお経。

・をば・・・を。・・・は。（強く指示する言い方）

教内きょうない お釈迦様の教えの内。お経典に書かれて

いること。

簡かんひて見下して。嫌つて。

教外別伝きょうがいべつでん 不立文字ふりゅうもんじ 「教え以外を別に伝える 文

字を使わ（立て）ない」。お釈迦様の教えに



外を別に伝え經典を用いない。  
壁に向ひ悟ればだるま達磨大師が九年間、

壁に向かつて禪定を修行し悟り  
を開いたこと。

ひとり勝れたりひと。・だけ勝れている。

浄土宗じょうど 法然上人（一一三三〜一二二

二）を開祖とする宗派。浄土三

部經を抛り所とする。

正しやうぞう 雑ざつ二行にぎやう 正行と雑行の二つの修行。

捨しやへい閉へい閣かく抛ほう 雑行を「捨てよ・閉じよ・

差し置け・投げうて」。

雑ざつ 行ぎやう 念仏修行以外の修行。

浄土の三部經 無量壽經・觀無量壽

經・阿彌陀經のこと。

機きに叶かなひ 機根（能力）に合っている。

めでたき 素晴らしい。立派な。

正しやう 行ぎやう 悟りを得るための正しい修

行。

我慢を立て、我が意を主張して。新説を作つて。

偏執をなす、偏つた見解に固執する。

御本意なるや、本来の真意だろうか。

答へて云く、お答えします。

余経、その他のお経。以外のお経。

人師の言にて、祖師の言葉で。

【現代語にしてみる】

質問します。華嚴宗では、一切経に五段階の浅深（五教）を付けて、華嚴経が最も勝れ他の経は劣っている、と言っている。

真言宗では、人々の心を十段階に分類し（十住心）、十番目の最高境地こそ真言秘密の教えを悟る心とする。九番目までの心は、お釈迦様の教え頭教であるから劣り、十番目の心は大日如来、真言密教の教えを悟る心であるから勝れている、と言っている。

禅宗では、様々ある一切経は、お釈迦様の教えを文字や言葉で伝える不完全なものである。禅宗は、

それらに捉われず、心から心へ伝え、ただ壁に向かつて座る修行によつて、お釈迦様と同じ悟りを開くのであるから禅宗だけが勝れている、と言っている。

浄土宗では、念仏を唱える正しい修行（正行）と念仏以外の修行（雑行）に分け、法華経などのお経を雑行として「捨てよ・閉じよ・差し置き・投げうて」と嫌い、無量寿経・観無量寿経・阿弥陀経の浄土三部経だけが現代人の能力に合う正しい正行である、と言っている。各々自分の宗派こそ勝れていると主張し、互いに偏つた見解に固執しています。どれがお釈迦様の正しい教えなのでしょう。か。

お答えします。各宗各々が「自分の拠り所とするお経こそが勝れている。他のお経は劣っている」と、我が宗派こそが最も勝れていると言うのは、それぞれの祖師の言葉によるものであって、お釈迦様の説ではありません。

— 続く —